

証券アナリストジャーナル 2011 年 4 月号 (Vol.49 No.4)
「新刊紹介」より抜粋

○ 鈴木 桂著

「日本人のためのお金の授業—超資産運用術
ファミリーオフィスのすべて—」
総合法令出版 2011.2 273ページ 1,890円

本書の扱う「ファミリーオフィス」は、わが国ではまだ馴染みがないが、信託制度の発達している欧州では富裕層を中心に資産の保全手段として活用されている。著者によれば、その真髄は金融商品のみならず不動産、各種会員権、宝飾・美術品等、そのファミリーの全ての資産を網羅した統合レポート作成業務にあり、それを基に預かり資産を守り増やそうとしていると言う。そこには相続や事業継承も含んでいる。日本では、法律上の制約もあって、金融業は分業体制でかつ売買手数料が主体なため、そうしたビジネスモデルは確立されていないが、潜在的なニーズは高いとみている。

著者は、Katsura Suzuki Consulting (KSC) 代表。

◆主要目次 世界最先端の資産運用術とは / ファミリーオフィスの徹底解剖 / 世界の事例紹介 / 日本でファミリーオフィスを定着させるために / Q&A

本稿は、『証券アナリストジャーナル®』平成 23 年 4 月号に掲載された論稿を同誌の許可を得て、転載したものです。

本論稿の著作権は日本証券アナリスト協会® に属し、無断複製・転載を禁じます。